

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 5 日現在

機関番号：17102

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2014

課題番号：23520867

研究課題名(和文) 中華帝国の構造についての比較史的考察

研究課題名(英文) The comparative historic consideration about the structure of the Chinese empire

研究代表者

川本 芳昭 (KAWAMOTO, Yoshiaki)

九州大学・人文科学研究科(研究院)・教授

研究者番号：20136401

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、北魏に見られる内朝(非漢民族国家・北魏に存在した皇帝の側近官集団)と、元に見られるケシク(非漢民族国家・元に存在した皇帝の側近官集団)、遼に見られる著帳官(非漢族国家・遼に存在した側近官集団)、漢民族国家・漢に見られる郎官との同質性を解明し、そのもつ歴史的意義を解明した。また合せて古代日本においてもこうした内朝官に類したものが見出されるが、それと中国史上における内朝とがどのように関連するのか、こうした組織が何故中国史上に幾度かにわたり出現するのかという原因を探り、前近代中華帝国の核をどのようなものとして捉えることが出来るのかを解明した。

研究成果の概要(英文)：In this study, I elucidated the homogeneity of Inner courts 内朝 that are the aides of the emperor seen in North Wei 北魏 Dynasty, Yuan 元 Dynasty, Liao 遼 Dynasty, and Han 漢 Dynasty. In addition, such an organization was found in ancient Japan's inner court, too. I investigated the cause such an organization found on the history in these dynasties. It concern with the construction of the Chinese Dynasty in pre-modern.

研究分野：東洋史

キーワード：内朝 ケシク 著帳官 郎官 北魏 元 遼 ヒヤ

1. 研究開始当初の背景

今回の研究(題目「中華帝国の構造についての比較史的考察」)の代表者は、これまでその研究の一環として中国南北朝時代の北魏における皇帝の側近官集団(内朝と呼ばれた)について考察してきた。これは非漢民族である鮮卑が建国した北魏の中枢に存在した鮮卑族を中心とする支配集団組織である。

その際、非漢民族国家である元にも相似た組織であるケシクと呼ばれる組織が存在することに気づいた。

とすればそれは北魏のみに関わる問題ではなく、中国史上における非漢民族王朝全体の問題と関わる問題ということになる。

また、内朝と相似た組織は漢民族が建国した、かつ中国王朝の始源というべき漢王朝にも存在した。とすればこの問題は中国史上における非漢民族王朝に関わる問題というレベルを越え、非漢民族、漢民族を包含する、中国史全般に関わる問題であることになる。

また、この北魏の内朝に見られる皇帝側近官の組織(内朝)は、古代日本の倭国にもそれと類似の現象を見ることが出来る。つまりこの内朝の問題、すなわち王権の間近に展開した側近官組織の問題は世界史的な意味をもつとも言えるであろう。

こうした認識のもと、研究を深化させてみようとしたのが、研究開始当初の背景である。

2. 研究の目的

前近代中国における専制体制が如何なるところから生じてくるのか、という問題は今日的に見ても重大な問題である。それが何故、帝国という形をとるのか、という点もまたそれと密接に関連するといえよう。

中国史の歴史展開において、漢民族とともに、非漢民族が果たした役割に巨大なものがあることも、周知のことからであろう。

こうした問題すべてに対して、具体的に如何なる形で接近するかは容易ではない。その際、ここで考察の対象とした内朝の問題は、その問題解決の上で、極めて有効、かつ明瞭な手がかりを与えてくれる視座ということができる。

北魏における皇帝の側近官集団と同質・相似の集団は、上記の「1. 研究開始当初の背景」で述べたように元にも見られるが、それと同質・相似の集団がそれ以外の王朝、地域に見られるとすれば、それは世界史的に見て大きな意義を有するであろう。本研究の目的はそうした予測の検証、およびその歴史的意義を明らかにすることにあった。

3. 研究の方法

本研究では、前近代中華帝国の構造如何という問題との関連で、(1)元に見られるケシク(非漢民族国家・元に存在した皇帝の側近官集団)と北魏に見られる内朝(非漢民族国家・北魏に存在した皇帝の側近官集団)とが

どのような点で一致し、どのような点で異なっていたのかを明らかにし、そのもつ歴史的意味を解明すること、(2)中国史上の非漢民族国家に見られるこれら皇帝の側近官より構成されるケシク(元)・内朝(北魏)組織と、それより前の時代、漢民族によって建国された漢における所謂内朝との類似性に注目し、それがどのような関係にあるのかということをも明らかにすること、(3)古代日本においてもこうした内朝官に類したものが見出されるが、それと中国史上における内朝とがどのように関連するかを明らかにすること、(4)上記の考察を通じて、こうした組織がどのような理由から、中国史上に幾度かにわたり出現するのかという原因を探り、前近代中華帝国の核をどのようなものとして捉えることができるのかということを追究する方法をとった。

4. 研究成果

上記「3. 研究の方法」の(1),(2),(3),(4)についてほぼそのすべてを解明することが出来た。これは本研究の代表者が今回の研究において解明を目指したところである。その成果は、以下の発表済成果において示したが、とりわけ、本研究期間の最終年度において刊行した著書：川本芳昭『東アジア古代における諸民族と国家』、汲古書院、2015において全体の成果を体系的に示した。

また、本研究における研究分担者にはそれに関連し、各々漢代における内朝に関わる研究、南朝における内朝に関わる研究、北朝、隋唐・遼における内朝に関わる研究を委嘱した。その結果、各々、漢代の郎官、南朝の制局監、北朝隋唐・遼における内廷と和蕃公主の問題を進展させることが出来た。その具体的成果は研究分担者各自の発表成果に表れている。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計18件)

川本芳昭「内朝再論 比較史の観点から見た」、『東洋史研究』(京都大学)70-2、査読有、2011、pp1-30

川本芳昭「遣隋使の国書」、『遣隋使が見た風景 東アジアからの新視点』八木書店、2012、pp168-189

川本芳昭「日本と中国との関係 一歴史研究者の目から見た」、『学会会報』、査読有、2012、pp43-47

川本芳昭「倭の五王の自称と東アジアの国際情勢」、『史淵』149、2012、pp49-72

川本芳昭「文献史からみた西南夷 中華帝国の構造との関連からみた」、『宮本一夫編『東チベット先史社会 四川省チベット自治区における日中共同発掘調査の

記録』中国書店、査読有、2013、pp297-313
川本芳昭「北魏内朝再論」、『中国魏晋南北朝第十届年会論文集』、査読有、2013、pp53-71
川本芳昭「中国史研究における所謂少数民族の理解をめぐる」、『川勝守博士古稀記念 東方学論集』、汲古書院、2013、pp297-322
川本芳昭「前近代における所謂中華帝国の構造についての覚書 北魏と元・遼、および漢との比較」、『史淵』151、2014、pp1-40
川本芳昭「中華と周辺 古代西南中国と日本関係来看」、『東亜視域中的中華／中国』、査読有、2014、pp19-60
藤野月子「北朝隋唐時代の和蕃公主降嫁」、『中国魏晋南北朝第十届年会論文集』、査読有、2012、pp241-251
藤野月子「和蕃公主の降嫁における婚儀の実態」、『東方学』、査読有、124、2012、pp35-53
藤野月子「唐代和蕃公主考 降嫁に付随して移動したヒトとモノ」、『九州大学東洋史論集』、査読有、41、2013、pp91-111
藤野月子「唐朝和吐谷渾の和蕃公主」、『中国中古史学者聯誼会会刊』、査読有、2014、pp366-372
藤野月子「唐と突騎施の和蕃公主」、査読有、『七隈史学』、17、2015、pp75-86
福永善隆「前漢における内朝の形成 郎官・大夫の変遷を中心として」、『史学雑誌』、査読有、120-8、2011、pp1-38
福永善隆「漢代的尚書と内朝」、『中国中古史学者聯誼会会刊』、査読有、5、2011、pp1-14
福永善隆「漢代における尚書と内朝」、『東洋史研究』京都大学、査読有、71-2、2012、pp29-59
戸川貴行「東晋南朝における伝統の創造」、『東方学』、査読有、122、2011、pp13-28

〔学会発表〕(計14件)

川本芳昭「倭の五王時代の倭国と外交 官号自称と除正を中心としてみた」九州史学会、2011、九州大学(福岡)
川本芳昭「北魏内朝再論」中国魏晋南北朝史学会、2011、太原(中国)・山西大学(招待講演)
川本芳昭「現代中国の民族問題と中国史研究 「少数民族」の理解をめぐる」九州史学会、2012、九州大学(福岡)
川本芳昭「前近代における所謂中華帝国の構造について 北魏と元・遼、および漢との比較」九州史学会、2013、九州大学(福岡)
川本芳昭「中華と周辺 古代西南中国と日本関係来看」東亜視域中的中華／中国意識国際学術検討会、2014、台北(台湾)・台湾大学(招待講演)
藤野月子「北魏唐代的和蕃公主 変遷

過程和降嫁儀礼の実際状態」中国魏晋南北朝史学会、2011、太原(中国)・山西大学

藤野月子「和蕃公主降嫁における儀礼について」2012、福岡大学(福岡)
藤野月子「唐代和蕃公主考 降嫁に付随して移動したヒトとモノ」九州史学会、2012、九州大学(福岡)
藤野月子「契丹における中原王朝との外交に基づいた外交政策に対する認識について」九州史学会、2013、九州大学(福岡)
藤野月子「北朝における和蕃公主の降嫁について」『シンポジウム古代東アジア・東ユーラシアの対外交通と文書』、2014、國學院大學(東京)
藤野月子「唐と突騎施の和蕃公主」東洋史学研究会、2014、福岡大学(福岡)
藤野月子「唐朝和吐谷渾の和蕃公主」中国中古史青年学者聯誼会、2014、北京(中国)・人民大学
福永善隆「漢代的尚書と内朝」第五届中国中古史青年学者国際検討会、2011、北京・首都師範大学
戸川貴行「東晋南朝における華林園について」『シンポジウム六朝建康城と都城研究』、2011、東京大学(東京)

〔図書〕(計2件)

藤野月子『王昭君から文成公主へ』九州大学出版会人文学叢書1、2012、183
川本芳昭『東アジア古代における諸民族と国家』、汲古書院、2015、512

〔産業財産権〕

なし
出願状況(計 件)
名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究代表者

川本 芳昭 (KAWAMOTO, Yoshiaki)
九州大学・人文科学研究院・教授
研究者番号：20136401

(2)研究分担者

藤野 月子 (FUJINO, Tsukiko)
九州大学・人文科学研究院・研究員
研究者番号：30581540

福永 善隆 (FUKUNAGA, Yoshitaka)
九州大学・人文科学研究院・研究員
(2012年度まで参加)
研究者番号：00581539

戸川 貴行 (TOGAWA Takayuki)
九州大学・人文科学研究院・研究員
(2011年度まで参加)
研究者番号：60552255

(3)連携研究者

なし